

① マイナンバーカードとマイナ保険証一本化について

政府は、今年の12月2日に保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化しました。その目的は、医療DXを作ることが目的だと言われています。私は、昨年9月にマイナンバーカードについて質問しましたが、一本化されることによって多くの方からの不安の声を聞き再度質問させていただきます。平成27年10月、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）が施行され9年目となりましたが、過去に他人の番号や情報が誤登録されるなど重大なミスが発生し、個人情報の流失がされるなど国民の信頼度も喪失状態である中、紙の健康保険証が廃止され、マイナンバーに紐付けされ一本化され推進されつつあります。マイナンバーカードを紛失した場合、個人情報が流失し悪用されるリスクも否めません。実際、国内外でも、ランサムウェアにより戸籍謄本や住民票を不正に取得したりアクセス障害など犯罪等に悪用された事例もあります。

現在、全国の1,400人以上の現役医師が政府を相手に訴訟を提起しています。また、医療機関の窓口でも、7人のうち6人が紙の保険証を利用し、わずか、7人のうち1人しかマイナ保険証を利用していないのが現状です。マイナンバーカードは、任意であることから、国民のこれからの判断が問われるところではありますが、本町のマイナ保険証の今後の課題や問題点などお考えを伺います。

- (1) 現行の健康保険証の廃止についての現状とお考えをお聞きします。また、マイナ保険証での受診が困難な方（高齢者や施設入居者など）への対応など伺います。
- (2) マイナンバーカードの交付状況や健康保険証（マイナ保険証）の紐付け状況と発行までの期間、マイナ保険証未対応医療機関を受診する際などの注意点などを伺います。
- (3) 本町でのマイナンバーカードとマイナ保険証の作成における事務量の負担と一本化されることでのメリット、デメリットについて伺います。
- (4) 国内外でも、ランサムウェアによって攻撃され、サーバーにアクセスされ障害が発生した事例があり懸念されますが、本町での今後の対策を伺います。
- (5) 小さな医院では、システム導入時の負担に追われ全国では700カ所以上の診療所が閉鎖したと言われますが、医療機関からの相談状況や町への影響を伺います。